

科目名 (科目番号)	輸血・移植検査学演習 (時間割参照)	教員名 柴山 修司	学科等	臨床検査	必修	履修年次	4
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	演習	オフィスアワー	水1 B208研究室	
授業概要	輸血・移植検査学、そしてその基礎を成す免疫学への理解を深め、輸血療法、献血法、血液製剤の保管と管理、輸血・移植検査そして輸血副作用や合併症など、輸血全般に渡る理解を深めることを目的とする。						
目的・目標	目的:輸血・移植検査学の履修を踏まえ、総合的な知識や理解力を高め国家試験に対応できる確かな実力を身につける。 目標:過去の国家試験問題や模擬試験など、そしてランダムな質問にも柔軟に対応できる能力を養う。						
準備学習	毎回の授業について、少なくとも1時間程度の予習復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	輸血療法・輸血検査と輸血用血液製剤	到達目標:輸血療法に必要な知識を理解して説明できる。 学習内容:輸血基準、献血法、血液製剤の種類や保管法				
	2	赤血球血液型検査	到達目標:輸血検査法を説明できる。 学習内容:血液型、不規則抗体、カラム凝集法などの自動機器による輸血検査				
	3	亜型検査	到達目標:亜型の性状とその検査法を説明できる。 学習内容:亜型検査について、唾液検査、抗体解離試験などの精査検査法				
	4	抗グロブリン試験	到達目標:間接グロブリンと直接グロブリンを説明できる。 学習内容:冷式と温式抗体、LISS・PEG反応増強剤作用				
	5	不規則抗体検査	到達目標:不規則抗体の種類と性状とその検査法を説明できる。 学習内容:抗体スクリーニング、抗体同定試験での消去法				
	6	血液媒介性感染症の検査	到達目標:輸血用血液製剤を介する血液媒介性感染症検査を説明できる。 学習内容:HIVなどのウイルス感染への遺伝子検査、そして抗体・抗原検査				
	7	輸血副作用と合併症	到達目標:輸血副作用の発症機序並びに検査法を説明できる。 学習内容:溶血性、非溶血性など、多様な副作用・合併症とその予防法				
	8	献血基準と献血の種類と手順	到達目標:献血基準やその採血法を説明できる。 学習内容:全血並びに成分輸血での静脈路への成分採血装置の接続、操作法				
	9	自己血輸血	到達目標:自己血の種類とその特性を説明できる。 学習内容:自己血採血と保管・管理、造血幹細胞採取と移植までの保管・管理				
	10	母児免疫と検査	到達目標:血液型不適合妊娠とその検査法を説明できる。 学習内容:RhDとABO不適合妊娠の病態機序と検査法				
	11	輸血検査の精度管理	到達目標:輸血検査の精度管理を説明できる。 学習内容:輸血検査の基本手技や手順、精度管理、輸血副作用への対応				
	12	臓器・細胞移植医療と免疫反応	到達目標:移植免疫検査を説明できる。 学習内容:HLAタイピング(DNAタイピング)、抗HLA抗体などの検査法と臨床的意義				
	13	拒絶反応と GVHD	到達目標:輸血後GVHの発症機序と予防法を説明できる。 学習内容:GVHD予防法、HLA抗原検査				
	14	臓器・細胞移植関連検査	到達目標:造血幹細胞移植や臓器移植に関連する検査法を説明できる。 学習内容:組織適合性検査(HLA型検査)、血小板抗原検査				
	15	総括	到達目標:輸血検査の1から8項目を復習する。 学習内容:広範囲を再度復習し知識を確実に身に付ける。				
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)						
教科書	輸血・移植検査技術教本 第2版		社団法人日本臨床検査技師会		丸善出版		
参考図書	スタンダード輸血検査テキスト 第3版		認定輸血検査技師制度協議会カリキュラム委員会 編		医歯薬出版社		
教員からのメッセージ	輸血・移植検査は、免疫学の上に成り立っている学問でもあるので、しっかりとした免疫学的基礎の上に輸血学の知識を重ねれば、理解が深まります。 総合病院で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。						